

「平成16年度低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討調査」
対象技術の採択について（お知らせ）

平成16年11月4日（木）
環境省環境管理局水環境部
土 壤 環 境 課
課 長 鏑木 儀郎（6650）
課長補佐 辻原 浩（6652）
課長補佐 国吉 克廣（6656）

環境省では、土壤汚染対策の一環として、現在実用段階にある低コスト・低負荷型の土壤汚染調査・対策技術を公募し、実証調査、技術評価する標記調査事業を行っています。

このたび、平成16年度の実証調査対象として、12件の応募技術の中から5件を採択しましたので公表します。

1 本調査の目的

低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討調査は、現在実用段階にある低コスト・低負荷型の土壤汚染調査・対策技術を募集し、本調査の対象となる技術を選定するとともに、選定した技術について現場実証試験等を行い、その結果等も踏まえ当該技術の総合的な評価を行います。以上の結果を公表することにより、実用段階にある低コスト・低負荷型の土壤汚染調査・対策技術に関する知識の普及と土壤汚染対策の推進を図ります。

2 本調査の対象技術の選考

平成16年6月2日から7月23日（一次募集）、平成16年8月30日から9月28日（二次募集）まで、本調査の対象とする低コスト・低負荷型の調査・対策技術の募集を行ったところ計12件の応募がありました。

今般、学識経験者からなる「低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討会」において、①技術の有効性、②技術の経済性、③周辺環境等への負荷度、④技術の実用性、⑤技術の簡便性、⑥総合的な評価の6つの観点から厳正な審査を行った結果、別紙のとおり5件の技術を本調査の対象技術として採択しました。

3 今後の予定

今後、おおむね以下のスケジュールで進める予定です。

- ・実証試験の実施：平成16年11月～平成17年3月
- ・実証試験結果の取りまとめ：平成17年3月

別紙

平成16年度低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討調査採択技術の概要

応募者名	技術名	技術の概要	
		調査/対策	対策技術の区分
アサヒ地水探査株式会社 日立プラント建設サービス株式会社 三菱商事株式会社	短期原位置微生物活性化型のバイオレメディエーション	対策	VOC汚染土壤の原位置浄化
大成建設株式会社	ふっ素吸着材料を用いた原位置浄化技術	対策	ふっ素汚染土壤の原位置浄化技術
株式会社竹中工務店	地下水の有効利用を考慮したナノアイロンの注入技術	対策	VOC汚染土壤の原位置浄化技術
協同組合地盤環境技術研究センター	土壤汚染調査用簡易土壤サンプラー及び簡易地下水サンプラー	調査	土壤及び地下水採取技術
東和科学株式会社	比色式NAPL検出方法	調査	VOC汚染範囲調査技術